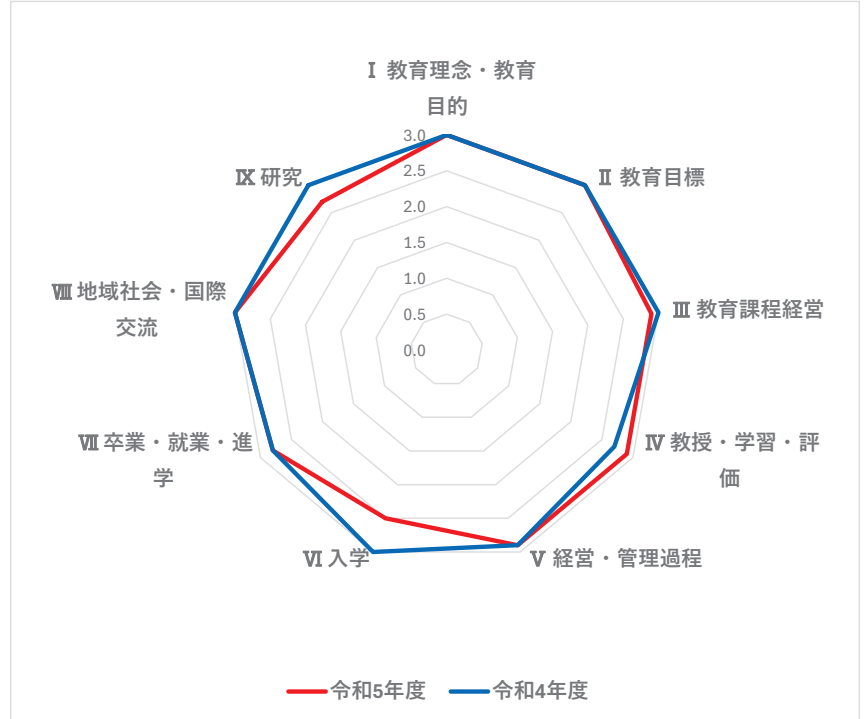


令和5年度 自己点検・自己評価結果

評価項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
I 教育理念・教育目的	3.0	3.0	3.0
II 教育目標	3.0	3.0	3.0
III 教育課程経営	2.9	3.0	2.9
IV 教授・学習・評価	2.9	2.7	2.5
V 経営・管理過程	2.9	2.9	2.7
VI 入学	2.5	3.0	3.0
VII 卒業・就業・進学	2.8	2.8	2.3
VIII 地域社会・国際交流	3.0	3.0	2.8
IX 研究	2.7	3.0	2.6



◇ 学校関係者評価委員会 令和6年3月28日 本校会議室で開催

委員 奈良市医師会会長 奈良県看護協会会長
市立奈良病院事務部長 市立奈良病院事務次長
飛鳥地区自治連合会 会長

学校自己評価について

前年度の評価をもとに改善に取り組み、令和5年度の自己点検・自己評価を実施した。今年度、特に取り組んだ内容と課題は以下である。

【 成 果 】

1. 学生が安心し、信頼できる学習環境を提供するため、単位修得や感染症対応を自己管理できるフローチャートを作成しより分かり易くした。ハラスメントの防止に関する規程、教員から学生への倫理的配慮10か条、信頼される看護師になるための基本姿勢・態度の10か条、など学生に理解しやすい具体的な指針を作成し活用している。
2. 教育の質向上に対し、科目ごとの学生による授業評価の体制を整えた。また教員は授業ごとにリフレクションシートを活用し授業を改善している。実習では、学生・指導者・教員ともに目標の達成状況を明確にとらえられるようルーブリック評価を各領域で作成している。
3. 教員の専門性、看護実践力強化のための臨地での研修を企画、実施し学生の教育に還元できる研修内容であった。今後も継続する。

【 課 題 】

1. 教育の質向上については、国家試験出題基準を参考に基礎看護学・成人・老年看護学のマトリックスを作成し、重複・整合性などを検討する。また実習前の技術習得については、内容や評価方法を再検討し教員間で共通認識が必要である。
2. 授業研究を行い、意見交換することでより良い授業をつくる。
3. 学生確保については、高校訪問、進学ガイダンス、ホームページの閲覧回数と時間を増やすこと。またオープンキャンパス・入試の開催時期や回数を検討し応募者を増やす。
4. 教員が主体的に研究活動が行えるように支援する。

2023年度 授業評価

授業の質向上を目的として、2023年度在学生115名を対象に授業評価のアンケート調査を実施した。基礎分野と専門分野の39科目に対し、質問項目6項目について平均値を算出し評価点とした。その結果を表1と図1に示す。

表1 2023年度授業評価

(4：とてもそう思う、3：そう思う、2：そう思わない、1：全くそう思わない)

1.学習目標が明確であった	3.26
2.時間や内容の配分がよかった	3.22
3.教員の説明は、具体的でわかりやすかった	3.28
4.学生が質問しやすく、答えをも丁寧であった	3.28
5.教材教具(テキスト、板書、パワーポイント、模型など)の使い方は効果的であった	3.27
6.この講義は興味・関心が深まる内容だった	3.33

図1 2023年度 授業評価



授業評価アンケートの結果と今後の課題

「説明が具体的でわかりやすかったか」や「興味・関心が深まる内容だったか」など6項目すべてで4点満点中、平均が3.22～3.33であり、学生の評価は概ね良好であった。しかし、今後は平均3.5を目指し改善を加えていきたい。

2023年度 実習評価

2023年度 領域実習（3年生）36名を対象に実習評価のアンケート調査を実施した。

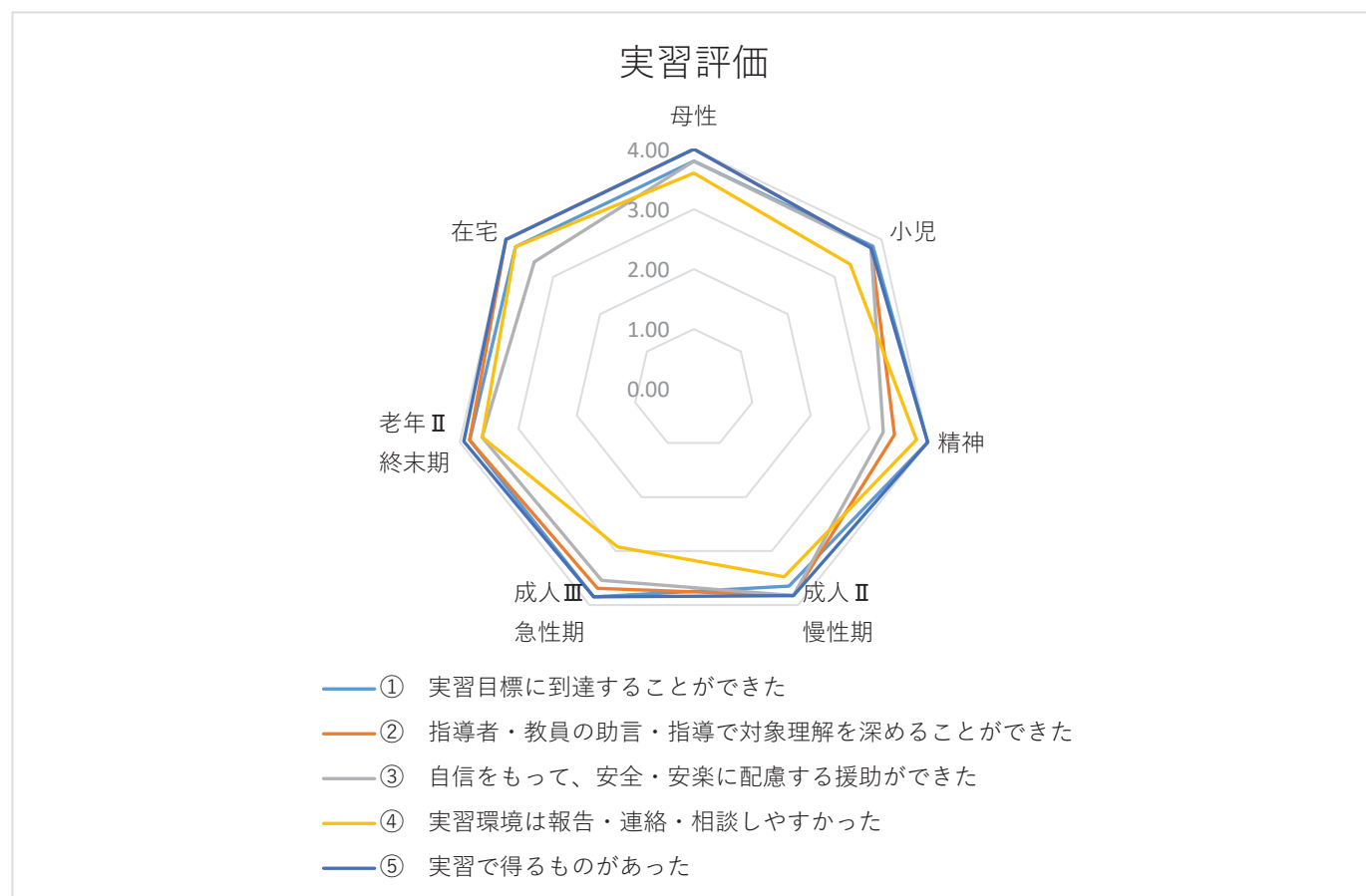
実習環境・実習指導の質の向上を目的として質問5項目について評価尺度の平均値を算出し評価点とした。

その結果を表1・図1に示す。

<表1> 実習評価

評価尺度（4. 大いにそう思う、3. そう思う、2. あまり思わない、1. 全く思わない）

アンケート内容	母性	小児	精神	成人Ⅱ 慢性期	成人Ⅲ 急性期	老年Ⅱ 終末期	在宅	平均
① 実習目標に到達することができた	3.80	3.82	4.00	3.65	3.85	3.83	3.80	3.82
② 指導者・教員の助言・指導で対象理解を深めることができた	4.00	3.78	3.43	3.82	3.69	3.83	4.00	3.79
③ 自信をもって、安全・安楽に配慮する援助ができた	3.80	3.78	3.24	3.82	3.54	3.62	3.40	3.60
④ 実習環境は報告・連絡・相談しやすかった	3.60	3.34	3.81	3.48	2.92	3.62	3.80	3.51
⑤ 実習で得るものがあった	4.00	3.78	4.00	3.82	3.85	3.93	4.00	3.91
<図1> 実習評価 平均	3.84	3.70	3.70	3.72	3.57	3.77	3.80	3.73



【実習評価アンケートの結果と今後の課題】

全ての領域において、4点満点中3.57～3.80と高い評価を得た。特に⑤「実習で得るものがあった」は、平均3.91と非常に高い評価を得た。

実習環境として、成人Ⅲ（急性期）のように、看護展開の速い領域は④「実習環境は報告・連絡・相談がしやすかった」の評価が低い傾向にあった。

今後、実習状況を把握し、指導者と連携をとりながら更に実習環境を整えていきたい。